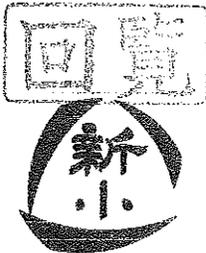


しんとね

令和2年9月4日
稲敷市立新利根小学校
学校だより



第2学期のスタートにあたって

8月24日(月)から第2学期がスタートしました。全児童275名の元気な顔を見ることができて大変うれしく思っております。

さて、第2学期の「始まりの会」(始業式)において、次の内容を話しました。

一つ目は、「勉強」です。学校は、一人だけで学ぶではありません。先生や友達と学び合い・助け合いながら、学習を進めるようにしましょう。また、今学期は、一人1台タブレットが配られます。学年の実態に応じて少しずつタブレットを使った学習が始まります。「よく考え、自ら学ぶこと」など、学習に取り組む姿勢は、これまでと変わりませんが、令和時代の新しい学びにも積極的に挑戦しましょう。

二つ目は、「思いやり」です。学校は、よりよく生きていくために、いろいろな学習をします。相手を思いやる行動をとることも、とても重要な学習です。特に、道徳の時間は、心を磨き、心に栄養を付ける大切な時間です。自分のよいところや友達のよいところを見つけるなど、感じたこと・考えたことを自由に話し合しましょう。また、あいさつは、いろいろな人とうまく付き合うのに大切な働きがあります。相手の目を見て、あいさつのできる人になりましょう。

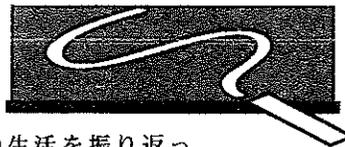
三つ目は、「健康」です。新型コロナウイルス感染拡大防止の取組は、しばらく続きます。手洗い・うがいはじめ、早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活をしましょう。また、持久走大会もありますので、積極的に運動をして心と体を鍛えましょう。

最後に、今学期も交通事故や水の事故には、十分に注意しましょう。特に、自転車に乗るときは、必ずヘルメットをかぶりましょう。飛び出しをしてもいけません。自分の命を大切にしましょう。

校長 黒田 正紀

2学期も本校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。校長 黒田 正紀

「いばらき教育の日」標語



「いばらき教育の日」推進大会の標語を募集しました。自分の生活を振り返ったり、家族との絆について考えたり、郷土に対して愛と誇りをもったりしたことを標語にしたものです。次に紹介するのは、学年で選ばれた作品です。どれもすばらしい作品ですので紹介いたします。

学年	作品
1年生	あいたいけれど あわないよ じいじも ばあばも たいせつだから
2年生	さかせよう 勇気の花 みんなの心
3年生	心をつないで きずなのわ 守ろう体の ソーシャルディスタンス
4年生	海から 空から 大地から あふれるめぐみ 茨城県
5年生	自分でつなげる 家族のきずな 地球をささえる みんなのきずな
6年生	優しい声かけ 思いやり 明日へ続け 明るい笑顔

《9月の主な行事予定》

2日(水) スクールカウンセラー来校 9:30~12:30 放課後子ども教室 15:50下校	21日(月) 敬老の日
3日(木) 学びの広場(4, 5年生)	22日(火) 秋分の日
4日(金) 避難訓練	23日(水) 放課後子ども教室 15:50下校
9日(水) 放課後子ども教室 15:50下校	24日(木) 月例テスト(漢字) 学びの広場(4, 5年生)
10日(木) 3年社会科体験学習 学びの広場(4, 5年生)	30日(水) 所課長訪問 (お客様が来られる) 運動会会場準備
11日(金) クラブ活動	15:00一斉下校
14日(月) 運動会練習開始	10/1(木) 運動会(児童のみで実施)
15日(火) 月例テスト(計算)	
16日(水) 放課後子ども教室 15:50下校	
17日(木) 計画訪問 (お客様が来られる)	
18日(金) 創立記念日(登校日) 創立記念集会	



よりよい教育活動を目指して



今後の教育活動を改善し、充実させていくための参考として、第1回目の学校評価アンケートを実施いたしました。ご協力ありがとうございました。その中で、今後の教育活動を改善していく上で、特に参考となる項目を掲載させていただきます。これからも職員一同、子供たちの笑顔のために、一致団結して全力で取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

1 確かな学力の定着

① 授業がわかりやすいと感じている

	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	全く思わない
児童	73.6%	24.0%	0.8%	1.6%
保護者	27.8%	58.4%	10.0%	0.0%

質問①については、児童の「そう思う」のポイントが昨年度と比べ、18.4%上がっており、肯定的な回答(「そう思う」、「まあそう思う」を合計したもの。以下肯定的回答とする)の合計が97.6%であった。先生方の授業への努力の結果が少しずつ出てきていると考える。今後も授業に対して工夫改善に努めていく。

④ 根拠を示して、自分の考えを表現できる

	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	全く思わない
児童	33.5%	43.8%	17.7%	5.0%
保護者	17.2%	49.3%	28.7%	4.8%

質問④については、肯定的回答が77.3%で、今後さらに伸ばしたい項目である。今後は、授業において、自分と相手の考えを比較して自分の考えを整理したり、文や資料から自分の考えの根拠を見つけたりする学習を進めていく。

2 豊かな心の育成

⑤ 学校が楽しいと思っている

	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	全く思わない
児童	69.8%	21.7%	7.0%	1.5%
保護者	62.7%	25.9%	10.1%	1.3%

質問⑤では、肯定的回答は、91.5%と高いが、ここはできることなら100%を目指したい。注目すべき点は、「全く思わない」の児童が1.5%存在することである。学校生活アンケートなどを分析し、人間関係づくり等の具体策（ワザルキトレーニング等）を講じていく。

⑥ 時と場にあった言葉づかいやあいさつができています

	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	全く思わない
児童	58.6%	32.0%	7.4%	2.0%
保護者	22.5%	56.4%	21.1%	0.0%

質問⑥については、「あいさつ等ができた姿」の認識が、児童と保護者とにずれがあると考えられる。「あいさつ等ができていく姿」とはどんな姿なのかを子供たちと考えながら、理想の姿に近づけるように子供たちに投げかけていきたい。特に、あいさつは重点課題となるので、「よいあいさつ」の仕方を子供たちなりに捉えさせていく。

⑧ 道徳的な面での心の成長が感じられる

	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	全く思わない
児童	60.7%	29.3%	4.6%	5.4%
保護者	19.6%	58.4%	20.1%	1.9%

質問⑧は、高い数値を示しているが、肯定的回答が昨年度と比べ、僅かではあるが、数値を下げている。道徳の授業の充実を図るためにも、研修を積み、授業改善を行っていく。

3 健やかな体の育成

⑨ 運動が好きで、積極的に体を動かしている

	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	全く思わない
児童	57.8%	24.4%	15.1%	2.7%
保護者	34.9%	32.1%	27.3%	5.7%

質問⑨では、肯定的回答が80%を超えている。今後も、新型コロナウイルスの感染拡大防止と熱中症対策を両立させながら、体力アップ推進プランの取組を実施し、体力向上を図っていく。

4 一人一人を大切にしている学校

⑩ 学校は児童一人一人を大切にしている授業を行っている

	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	全く思わない
児童	80.2%	15.0%	2.0%	2.8%
保護者	16.5%	68.0%	15.0%	0.5%

質問⑩では、肯定的回答を児童が95.2%、保護者が84.5%であった。授業に対する信頼感も高いと感じられる。しかし、「全く思わない」という児童が2.8%いることも事実なので、さらなる授業改善を図り、今後も児童一人一人を大切にしている授業を展開していく。

5 安全・安心な学校

⑪ 学校は安全教育や防災教育などの安全安心な取組を適切に行っている

	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	全く思わない
児童	75.2%	20.1%	3.9%	0.8%
保護者	23.4%	67.8%	8.8%	0.0%

質問⑪では、肯定的回答は児童・保護者ともに高評価であった。これからも、学校での危機意識の継続的な指導を行っていく。

⑫ 学校はいじめや体罰がない学校にしようとしている

	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	全く思わない
児童	71.5%	22.1%	4.0%	2.4%
保護者	15.9%	64.4%	17.8%	1.9%

質問⑫では、肯定的回答は児童と保護者ともに高い数値を示している。いじめは絶対に許さないという毅然とした態度で、今後も命や人権を守る指導は最優先で取り組んでいきたい。

6 地域とともにある学校

⑭ 子供の生活の様子について、便りやHP等で積極的に発信している

	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	全く思わない
児童	67.1%	26.4%	4.5%	2.0%
保護者	15.5%	64.3%	18.8%	1.4%

質問⑭では、児童は高い評価が見られた。しかし、保護者は昨年と比較すると、7.6%数値が下がっている。コロナ禍にあり、授業参観等も無く、学校の教育活動が保護者に十分示されていないことが影響していると考えられる。今後はさらに、学校の様子をHP等で発信していく。

7 学び続ける学校

⑮ 保護者や児童から聞きたいことや相談事があった時、きちんと対応してくれる

	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	全く思わない
児童	77.5%	17.4%	4.0%	1.2%
保護者	25.8%	61.8%	11.0%	1.4%

質問⑮では、肯定的回答は高い数値を示している。しかし、コロナ禍の影響もあり、地域や家庭との連携がこれまでのようにとどまらなくなっているため、これまでと同様に連携がとれるよう努力を続けていきたい。また、全体的には学校への信頼度は高いと思われるが、「全く思わない」と回答した児童や保護者がいるので、この結果を真摯に受け止め、今後はさらにはいねいな対応を心掛けていく。

8月24日（月）から、これまでに経験したことのない、長い2学期が始まりました。新型コロナウイルス感染症もこれから、どうなっていくか先が見えません。しかし、そんな中、子供たちが元気に学校へ戻ってきてくれたことをとてもうれしく思います。やっぱり学校というところは、子供たちの元気な声、元気な笑顔があってこそなんだと痛感いたします。

これから先も、どんなことが起こるか分かりませんが、その都度、子供たちのために何ができるかを考えながら、その時の最善の方法を模索していきたいと考えています。よりよい教育活動を行うためには、保護者の方々の協力なしではあり得ません。今後とも新利根小学校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。
（文責：教頭 黒瀧）